

**情報化推進（情報センター）事業  
（情報化推進事業会計）**

**1. 実施方針**

**（1）活動方針**

県内中小企業への企業訪問によりIT活用支援により経営改善が見込まれる企業の掘り起こしを行い、そのニーズに合った支援を実施する。

また、財団業務の効率化のためのシステム化やインフラ環境改善等の取り組みを推進する。

●**県内中小企業のIT化支援**

中小企業の生産性向上や経営力強化を図るため、窓口相談から生産管理、受注管理、取引拡大等に関するIT活用支援を行う。

●**県内中小企業支援情報の提供**

中小企業の経営を支援するため、財団、国、県、関係機関からの支援施策情報を迅速かつ的確に提供する。

●**財団内のシステム化の推進**

効率的な事務事業の実施に資するため、財団インフラ環境の最適化を推進するとともに、情報流出防止対策等セキュリティ対策を実施する。

**2. 実施計画**

中小企業情報化支援事業 【予算額 36,071千円】

① **県内中小企業のIT活用支援**

ITの活用により効率的な経営等に効果が見込まれる企業への支援を実施する。

ア **IT活用支援**

企業の生産管理システムや受注管理等システムなどの導入支援や既存システムの改良を支援する。また規模が小さくシステム化が必要でない範囲の業務改善方法などを支援する。

イ **企業の自社ホームページの活用支援**

ホームページを営業ツールとして活用するため、新規立ち上げ、更新手順の効率化、運用などについて支援を実施する。

- ウ 企業のセキュリティ強化支援  
企業における情報セキュリティ対策として相談対応や出張講習会を実施する。
- ② 支援情報提供  
中小企業の経営を支援するためのワンストップサービス提供機関として、財団の支援活動に関わる情報のほか、国、県、関係支援機関からの最新施策等の情報を提供する。
- ア インターネットによる情報提供  
ホームページ「よかネット長崎」及び電子メールマガジンにより、最新の支援情報を迅速に提供する。
- イ 広報誌「広報サンテックス」による情報提供  
財団の支援施策の情報、業務活動報告、元気企業のトップインタビュー、セキュリティに関する情報などを提供する。  
・発行部数：2, 300部（年2回発行）
- ウ FAXを用いた情報提供  
インターネット以外の媒体を利用した情報提供として、中小企業経営者向けの支援施策を中心とした情報をFAXマガジンとして見やすく、分かりやすい形で配信する。
- エ 図書等の貸し出しなど  
中小企業の経営に役立つ業界誌、教育用ビデオ・DVD、研究調査報告書等の収集、貸し出し、図書閲覧サービスを行う。
- ③ 情報セキュリティ対策の強化  
有害なサイトの閲覧を除外する機能や標的型サイバー攻撃への対策として出口対策機能の強化を図る。  
また、パソコン機器の外部記憶媒体利用を管理するシステムの強化により情報流出事故を防ぐ。
- ④ 財団内システム化の推進  
財団における事務事業のさらなる効率化のため、財団内各部門の業務改革、システム化を推進する。